

キャッシュレス導入とデジタル化促進を

石崎 誠子議員



出来るところから早急に進めていきたい
市長



▲簡単・便利な“スマートフォン決済”

問 コロナ対策と多様化する市民ニーズへの対応として、キャッシュレス決済やオンライン手続き等、市民の選択肢を増やす必要があるのではないかと。市役所等窓口において、キャッシュレスで出来る支払いはあるのか。

答 キャッシュレスの支払い方法は無い。
問 キャッシュレス決済について、市の考えは。費用対効果等も考慮し、窓口業務の手数料収入などから検討している。

問 行政サービスのデジタル化、窓口手続きのオンライン化の取り組みは。市民からの様々な問い合わせに対し、AIが対話的に対応するチャットボットといった総合案内サービスを年内にホームページで運用開始予定。

問 税金の納付も含めたキャッシュレス決済導入・行政手続きのデジタル化を積極的に進めてほしいが、市長の考えは。市民の選択肢が増えるため、前向きに検討・導入を考え、まずできるところから早急に進めていきたい。

水道の老朽管更新計画は

問 水道施設及び水道管の耐震化・老朽化状況は。

答 佐織地区浄水場9施設のうち2施設、八開浄水場4施設のうち2施設が耐震性を有している。令和元年度の基幹管路の耐震化率は26.5%、法定耐用年数40年を超えた管路の老朽化率は39.3%。

問 愛西市水道の老朽管の更新計画は。

答 更新対象となる管路が毎年増えていく状況。現在策定を進めている経営戦略の管路の更新計画及び更新費用に反映する。